

各不登校特例校校長
各都道府県教育委員会
各市区町村教育委員会 各位

「不登校特例校連絡協議会」設立と「不登校特例校全国の集い」
開催に当たって ーご参加・ご協力のお願ー

＜呼びかけ人＞不登校特例校全国連絡協議会設立準備会

私たちは、不登校児童生徒が増え続ける中、悩んだり不安になっている子どもたちの成長を支え、明るい未来につなげたいとの思いから、各地で不登校特例校を開校、今日まで運営して参りました。

10月27日、文部科学省は、令和3年度の小中学生の不登校児童生徒数が24万4900人を数え、過去最高になったと発表しました。前年度比、約5万人の増加であり、10年前と比べ小学生は3.6倍、中学生は1.7倍となっており、「教育機会確保法」第10条に基づく、私たち不登校特例校の役割や期待は、ますます大きくなっていると感じております。政府の令和4年度の「骨太の方針」には、「不登校特例校の全県設置」が述べられ、国も力を入れております。

そして、現在、不登校特例校にはお問い合わせも多く、見学希望者が増え、関心が高まっている現状があります。

それらの状況から、私達は文部科学省とも相談し、下記の2つに取り組んでいくことになりました。

- 「不登校特例校全国連絡協議会」発足総会
- 不登校特例校2022年度「全国の集い」

【本件連絡先】

準備会事務局（東京シューレ学園内）

電話 03-5678-8171（東京シューレ葛飾中学校）

メール info@shuregakuen.ed.jp

1. 「不登校特例校全国連絡協議会」発足総会について

現在、公立・私立あわせて21校ある不登校特例校ですが、それぞれ独自性を持ち、できる努力をしながら子どもや保護者を支える日々の実践を精一杯やってきています。次年度以降に向けて準備を進めているところもあると伺っております。しかし、特例校は歴史も浅く試行錯誤的な面もあり、さまざまな点で、これは良かった、この点、他校はどうしているのかなど、もっと知りたい、探求したいことに、たくさん直面していると思います。不登校の子ども達の状況は多様であり、特例校で日々経験していることは貴重で、そこから相互に学び合うことは豊富にあるだろうと考えています。

ますます特例校どうし、もっと知り合い、つながり合って日々の課題を解決したり、実践力を高めたりして、子どもや保護者が安心し、教職員も自信をもって子どもと関われるようにしていきたいと考えました。また、特例校の充実のためには、社会への理解と行政への働きかけも必要であり、つながり合って活動していく必要性を感じ、ここに連絡協議会の設置を呼びかけたいと思います。

ぜひ、貴校も参加され、協議会メンバーとして、共に活動下さるようご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

設立準備会の開催

1. と き 令和5年(2023年)2月5日(日)10:00~12:00
2. ところ 文部科学省講堂
3. 協 力 文部科学省
4. 内 容
 - ・準備会設置までの説明
 - ・文部科学省あいさつ
 - ・各団体自己紹介
 - ・規約検討(別紙案添付)
 - ・来年度の活動方針と幹事校について
 - ・アンケートから見える実態や課題についての意見交換、等

2. 不登校特例校 2022 年度「全国の集い」について

コロナ状況もからみ、かつてない不登校の子どもの増加をみる中、一人ひとりの子どもに応じた多様な対応が求められ、その一つとして教育機会確保法第 10 条に位置付いた不登校特例校の存在も重要になってきています。しかし、「不登校特例校」は、まだ広く社会に知られているとは言えません。「全国の集い」を開催することにより、不登校特例校の内容と可能性を知っていただき、不登校の子どもや保護者に安心感を得ていただくと共に、行政・学校関係者に周知し、社会への理解を深める一助にしたいと考えます。

特例校に関係している教育委員会、教職員、保護者の皆さんはもちろんのこと、これから設置を考えておられる地域行政の皆さん、不登校の子どもが元気になるにはどうしたらいいか知りたいと思っておられる保護者、支援者の皆さん、多様な学びを研究している学生や研究者の皆さん等、どなたもどうぞご参加下さい。

1. と き 令和 5 年（2023 年）2 月 5 日（日） 13 時から 16 時 30 分

2. ところ 文部科学省 講堂（住所東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 2 号）

※オンライン配信も行ないます。

3. 主 催 文部科学省

不登校特例校全国連絡協議会（発足予定）

4. 内 容

【第一部】

・あいさつ

(1) 講演「不登校特例校－その現状と課題－」（文部科学省）

(2) 特例校紹介

特例校 21 校の中にも、制度がスタートした 15 年以上前から実践を積み重ねている学校もあれば開設したばかりの学校として運営しているところもあります。また、学校型もあれば分教室

型として運営しているところもあります。公立で設置しているところもあれば私立の学校もあります。さまざまな形のいくつかの学校に登場いただき、それぞれの成り立ちや実際の様子を10分程度ずつご紹介いただきます。

【第二部】

特例校を語り合うシンポジウム

各校で実践を積み重ねてきている教員や運営の立場から、特例校の必要性やそのよさ、やってみての課題などを語り合います。

【第三部】

全国連絡協議会設立報告

(1) 「協議会」代表・事務局より

(2) 文部科学省より

・終わりのことば、諸連絡

5. 参加費 無料

6. 申込み ・方 法 下記の URL または QR コードにてお申し込み下さい。

<https://forms.gle/AfM5gkjFLJ7whaHJA>

・締め切り 2023年1月27日(金)

・問合せ先 準備会事務局(東京シューレ学園内)

メール info@shuregakuen.ed.jp



7. 留意事項 参加者希望者が多数の際は、先着順とさせていただく場合がございます。あらかじめ、御了承ください。

追記：

不登校特例校の実際や取り組んでみての感想、課題などについてのアンケートが届くと思います。文部科学省からこの「アンケート」へのご協力もお願いいたします。「集い」当日に、このアンケートの集計結果も活かした内容にしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

■アンケート締め切り：令和5年(2023年)1月13日(金曜日)必着

■アンケート送付先：西濃学園高等学校 北浦茂

メール seino1@octn.jp 電話 0585-52-2181